



YubiOn FIDO Logon Standalone

エンドユーザー向け 操作マニュアル



株式会社 ソフト技研

2026年8月版

目次

目次.....	2
第1章 はじめに.....	3
1.1 FIDO ログオンとは.....	3
1.2 本書の対象読者.....	3
1.3 ご利用にあたって必要なもの.....	3
1.4 本書の構成.....	3
第2章 認証器を登録する.....	5
2.1 管理者が事前に登録している場合.....	5
2.2 自分で登録する場合（初回ログオン時）.....	5
第3章 認証器でログオンする.....	10
3.1 ログオン画面の見える方.....	10
3.2 初めてログオンするとき.....	11
3.3 2回目以降のログオン.....	14
3.4 リモートデスクトップ（RDP）でのログオン.....	14
第4章 PIN について.....	16
4.1 PIN の役割.....	16
4.2 PIN の設定・変更.....	16
4.3 PIN に関する注意.....	17
第5章 こんなときは.....	19
5.1 認証器を忘れた・紛失した.....	19
5.2 PIN を忘れた・認証器がロックされた.....	19
5.3 リカバリコードでログオンする（緊急時）.....	19
5.4 認証器を抜いたら画面がロックされた.....	21
5.5 ログオン画面に FIDO タイルが表示されない.....	21
付録 用語集.....	22
お問い合わせ先.....	23

第1章 はじめに

1.1 FIDO ログオンとは

YubiOn FIDO Logon Standalone（以下、本製品）を導入した端末では、パスワードを毎回入力する代わりに、お手元の **FIDO2 認証器**（YubiKey などのセキュリティキー）を使って Windows にログオン（サインイン）できます。

認証器を使ったログオンには、次のような利点があります。

- パスワードの盗み見やなりすましに強く、**安全** です。
- 一度パスワードを登録すれば、次回以降は **PIN 入力とタッチだけ** でログオンできます。

1.2 本書の対象読者

本書は、本製品が導入された Windows 端末を利用する **一般の利用者（エンドユーザー）** を対象としています。

端末への製品の導入や設定は、システム管理者が別途行います。認証器の登録がまだお済みでない場合は、管理者にお問い合わせください。

1.3 ご利用にあたって必要なもの

- 管理者から貸与された、または登録済みの **FIDO2 認証器**
- 認証器に設定した **PIN**（または指紋などの生体認証）

PIN を忘れないでください。 ログオンには認証器本体に加えて PIN（または生体認証）が必要です。PIN を一定回数間違えると、認証器がロックされることがあります。

1.4 本書の構成

章	内容
第1章 はじめに	FIDO ログオンの概要
第2章 認証器を登録する	初回の認証器登録（必要な場合）
第3章 認証器でログオンする	日常のログオン操作
第4章 PIN について	PIN の設定・変更・注意点

章	内容
第5章 こんなときは	困ったときの対処
付録 用語集	用語の説明

第2章 認証器を登録する

FIDO ログオンを使うには、あらかじめお使いのアカウントに認証器を登録しておく必要があります。

登録方法は、お使いの環境によって次のいずれかになります。**どちらになるかは管理者の設定によります。**

2.1 管理者が事前に登録している場合

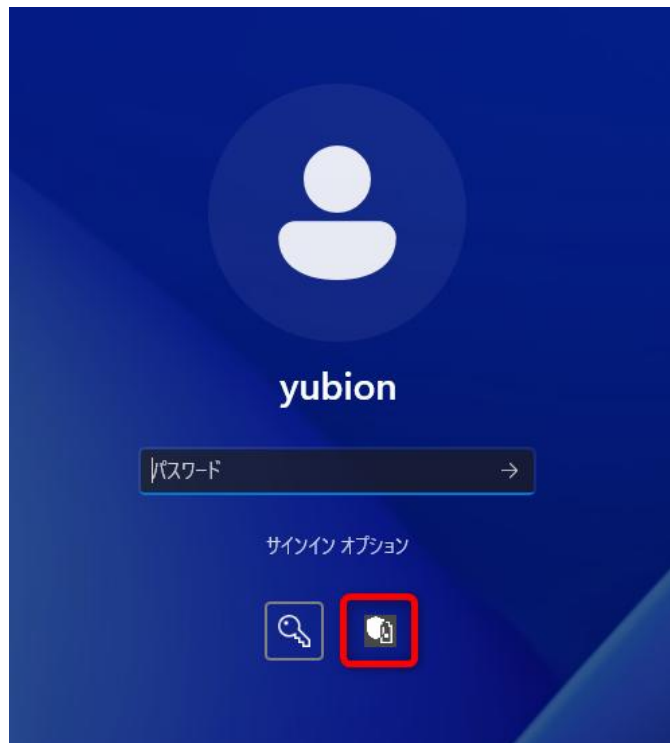
管理者があなたのアカウントに認証器を登録済みの場合、追加の登録操作は不要です。第3章のログオン操作に進んでください。

2.2 自分で登録する場合（初回ログオン時）

認証器の登録が求められる設定の場合、初回ログオンのときに、**まず Windows パスワードを入力してから** 認証器を登録します。登録専用の画面は表示されず、いつものログオン画面で続けて操作します。

はじめの画面には説明メッセージが表示されません。 タイルを選ぶとパスワードの入力欄だけが表示されます。ここで入力するのは **Windows のパスワード** です（認証器の PIN ではありません）。

1. ログオン画面で、自分のアカウントの **FIDO ログオン用タイル** を選択します。



図：FIDO ログオン用タイルを選択する

2. パスワードの入力欄が表示されます。Windows パスワードを入力して、Enter キーまたは「→」を押します。パスワードが違う場合はエラーメッセージが表示され、入力欄に戻ります。



図：Windows パスワードを入力する画面

3. パスワードが確認されると「**FIDOキーを接続してください**」と表示されます。パソコンに**認証器を接続** します（USB 接続の場合は差し込みます）。



図：認証器の接続を求める画面

4. 認証器に **PIN が未設定の場合** は「**認証器に新しいPINを設定してください**」と表示されます。新しい PIN（4 文字以上）と確認用の PIN を入力して送信します。続いて「**PINを設定しています。FIDOキーにタッチしてください**」と表示されます。



図：認証器に新しい PIN を設定する画面

5. 「**FIDOキーのPINを入力してください**」と表示されたら、**PIN** を入力 します（手順4で PIN を設定した場合は、設定した PIN を入力します）。



図：PIN を入力する画面

6. 「**FIDOキーにタッチしてください**」と表示されたら、認証器に **タッチ** します。



図：認証器へのタッチを求める画面

7. 続けて「登録を完了するため、FIDOキーにもう一度タッチしてください」と表示されたら、**もう一度タッチ** します（PIN の再入力は不要です）。



図：登録を完了するためのタッチを求める画面

8. 登録が完了すると、そのままログオンが完了します。2 回目以降は、パスワードの入力は不要になります（管理者の設定によっては、毎回入力が必要な場合があります）。

PIN は忘れないよう、安全に管理してください。 PIN は他人に教えないでください。

第3章 認証器でログオンする

この章では、FIDO2 認証器を使って Windows にログオンする基本操作を説明します。

3.1 ログオン画面の見える方

Windows のログオン画面には、環境に応じて次のように表示されます。

- ・ **認証器ログオンが必須の場合:** 本製品の FIDO ログオン用タイルのみが表示されます。



図：認証器ログオンが必須の場合

- ・ **そうでない場合:** 「サインイン オプション」を選ぶと、FIDO ログオン用タイルと、従来のパスワード入力タイルのアイコンが並んで表示されます。



図：認証器ログオンが必須でない場合（サインイン オプションに 2 つ以上のタイルが並ぶ）

「このアカウントには FIDO 認証器が登録されていません」と表示される場合 お使いのアカウントに認証器が登録されていません。管理者にお問い合わせください。

3.2 初めてログオンするとき

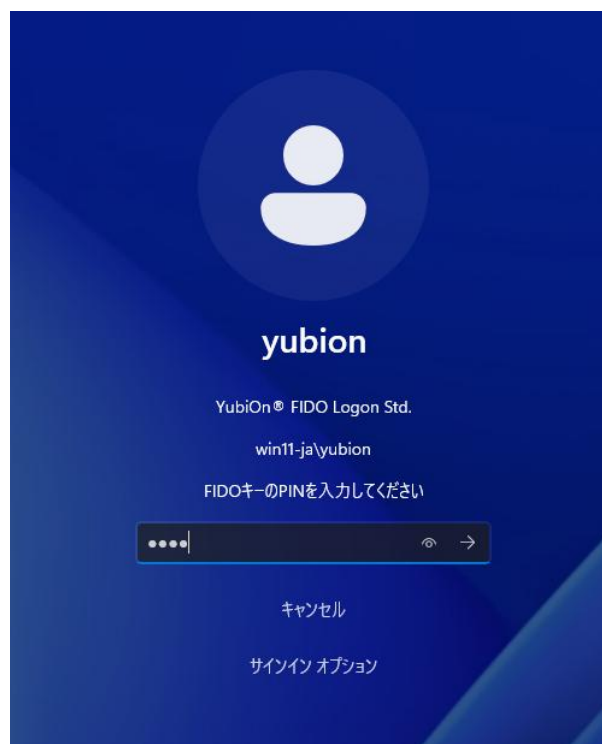
初回は、認証器による認証のあとに **Windows パスワードの入力** を一度だけ求められます。

1. ログオン画面で、自分のアカウントの **FIDO ログオン用タイル** を選択します。パスワード入力タイルが表示されている場合は、「**サインイン オプション**」から FIDO ログオン用のアイコンを選びます。



図：FIDO ログオン用タイルを選択する

2. パソコンに **認証器を接続** します。
3. 「**FIDOキーのPINを入力してください**」と表示されたら、認証器の **PIN**（または生体認証）を入力します。



図：PIN を入力する画面

4. 「**FIDOキーにタッチしてください**」と表示され、認証器が点滅したら **センサーにタッチ** します。



図：認証器へのタッチを求める画面

5. 認証に成功すると、**Windows パスワードの入力欄**が表示されます。パスワードを入力してログオンします。



図：Windows パスワードを入力する画面

入力したパスワードは端末内に安全に保存されます（パスワードキャッシュ）。保存されるのは暗号化された状態のみで、認証器を接続していないと復号できません。

3.3 2回目以降のログオン

一度パスワードを保存すると、次回以降はパスワード入力が必要になります。

1. **FIDO ログオン用タイル** を選択します。
2. 認証器を接続し、**PIN（または生体認証）** を入力 します。
3. 認証器に **タッチ** します。
4. 認証に成功すると、自動的にログオンが完了します。

画面の流れは前節「初めてログオンするとき」の1～4と同じで、**最後の Windows パスワードの入力だけがなくなります。**

毎回パスワードの入力を求められる場合 管理者の設定によっては、毎回パスワードの入力が必要になることがあります。また、一部の認証器（U2F 専用キーなど）では、仕様上パスワードが保存されず、毎回入力が必要です。

3.4 リモートデスクトップ（RDP）でのログオン

リモートデスクトップ接続でも認証器でログオンできます。ただし操作の場所が異なります。

認証器は手元（接続元）の PC に接続してください。 接続先の PC に挿しても認識されません。また、**PIN 入力とタッチは接続先の画面ではなく、手元の PC の画面で行います。**

1. **手元の PC に認証器を接続** します。
2. 「**リモートデスクトップ接続**」を起動し、接続先のコンピューター名を入力して接続します。
3. 接続時に **ユーザー名と Windows パスワードの入力** を求められたら入力します（Windows の通常の動作です）。この後、あらためて認証器による認証が求められます。
4. 接続先のログオン画面に、自分のアカウントの **FIDO ログオン用タイル** が表示されます。
5. 「**クライアント側でセキュリティキーを操作してください**」と表示されます。**手元の PC の画面**に Windows のセキュリティ画面（セキュリティキーの PIN 入力）が表示されるので、そこで **PIN を入力** します。

6. 手元の PC に接続した認証器に **タッチ** します。
7. 認証に成功するとログオンが完了します。初回のみ、この後 **Windows パスワードの入力** を求められます（**初めてログオンするとき**と同じ流れです）。

手元の PC に何も表示されない場合 リモートデスクトップのウィンドウを最小化するなどして、手元の PC の画面が隠れていないか確認してください。セキュリティ画面は接続先ではなく手元の PC に表示されます。

別の PC から接続したとき パスワードは接続元の PC ごとに分けて保存されるため、初めて使う PC から接続したときは、再度 Windows パスワードの入力を求められることがあります。

注記 リモートデスクトップでの利用には、管理者による環境設定（対応 OS・グループポリシー）が必要です。設定が整っていない環境では認証器ログオンは利用できません。うまくいかない場合は管理者にお問い合わせください。

第4章 PIN について

4.1 PIN の役割

PIN は、認証器を使うあなた自身であることを確認するための暗証番号です。認証器の本体に加えて PIN（または指紋などの生体認証）がそろって初めてログオンできます。

4.2 PIN の設定・変更

- PIN が未設定の認証器を初めて使うときは、登録時に PIN の設定を求められます（4 文字以上）。
- PIN の変更は、Windows にログオンした状態で「設定」→「アカウント」→「サインイン オプション」→「セキュリティ キー」→「管理」から行えます。表示された「Windows Hello セットアップ」の「セキュリティ キー暗証番号 (PIN)」の「変更」を選択します。



図：Windows の設定からセキュリティ キーの PIN を変更する

注意 同じ画面にある「セキュリティ キーをリセットする」を実行すると、**認証器の登録内容がすべて消去** され、ログオンできなくなります。管理者の指示があるときだけ使用してください。

4.3 PIN に関する注意

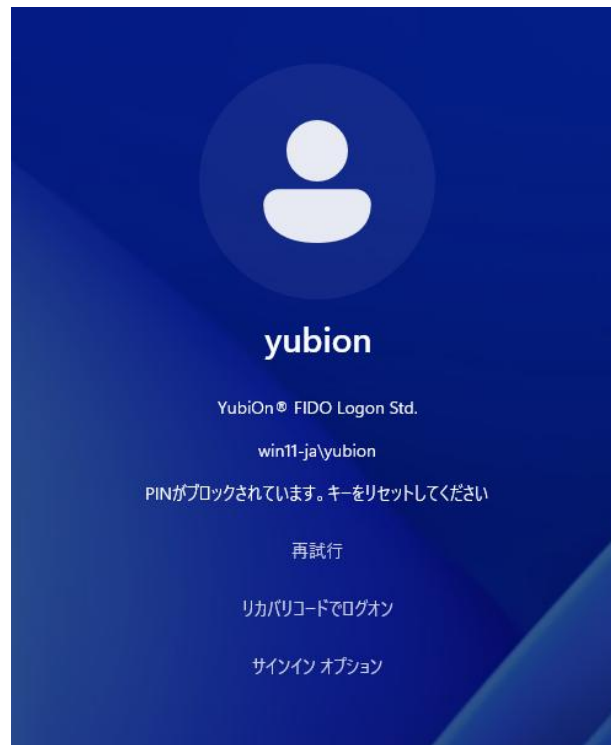
PIN を連続して間違えると、認証器が使えなくなります。次の 2 段階で進みます。

- ・ **第 1 段階（一時ブロック）**：数回連続で間違えると一時的にブロックされ、「**PIN 認証がブロックされました。キーを抜いて再挿入してください**」と表示されます。認証器を抜いて差し直せば、再度 PIN を入力できます。



図：PIN 認証が一時的にブロックされた画面（抜き差しで復帰）

- ・ **第 2 段階（完全ブロック）**：さらに間違え続けると完全にブロックされ、「**PIN がブロックされています。キーをリセットしてください**」と表示されます。こうなると **認証器をリセット（初期化）**するまで使用できません。リセットすると登録内容が消えてしまうため、管理者による認証器の再登録が必要になります。



図：PIN が完全にブロックされた画面（リセットが必要）

その他の注意点は次のとおりです。

- **残りの試行回数は画面に表示されません。** PIN があいまいなまま何度も試すと、気付かないうちに使用不能になります。分からなくなった時点で試行をやめ、管理者にご相談ください。
- PIN は他人に教えず、推測されにくいものを設定してください。また、**忘れないように注意してください。**

あらかじめ確認しておいてください 認証器が使えなくなったときに備え、**予備の認証器が登録されているか、または リカバリコードが手元にあるか**を確認しておくとう安心です。どちらもない場合は、管理者にご相談ください。

第5章 こんなときは

5.1 認証器を忘れた・紛失した

- ・ 認証器を持っていないとログオンできません。手元にはない場合は、管理者から配布されたリカバリコード（下記）で緊急ログオンできる場合があります。
- ・ 紛失した場合は、直ちに管理者へ連絡 してください。不正利用を防ぐため、管理者が認証器を無効化します。

5.2 PIN を忘れた・認証器がロックされた

まず、ログオン画面に表示されているメッセージを確認してください。

- ・ 「PIN 認証がブロックされました。キーを抜いて再挿入してください」
→ 認証器を抜いて挿し直せば、再度 PIN を入力できます。
- ・ 「PIN がブロックされています。キーをリセットしてください」
→ その認証器は リセットするまで使用できません。自分でリセットすると登録内容が消え、再登録が必要になるため、先に管理者にご連絡ください。

ログオンする方法は次のとおりです。

- ・ 予備の認証器 が登録されている場合は、そちらでログオンできます。
- ・ リカバリコード をお持ちの場合は、下記「リカバリコードでログオンする（緊急時）」の手順で緊急ログオンできます。
- ・ どちらもない場合は、管理者にお問い合わせください（管理者が代行ログオンできる場合があります）。

5.3 リカバリコードでログオンする（緊急時）

認証器が使えないとき、管理者から配布された リカバリコード で緊急ログオンできます。

1. FIDO ログオン用タイル を選択し、FIDO 認証を試みます。
2. 認証に失敗またはキャンセルすると、タイル内に「リカバリコードでログオン」のリンクが表示されます。



図：「リカバリコードでログイン」のリンクが表示された画面

3. リンクを選択し、配布された **リカバリコードを入力** します（XXXX-XXXX-XXXX-XXXX 形式）。



図：リカバリコードを入力する画面

4. 「リカバリコード検証成功。Windowsパスワードを入力してください」と表示されたら、**Windows パスワードを入力** してログインします。



図：リカバリコード検証成功後にパスワードを入力する画面

注意 リカバリコードは **1 つにつき 1 回だけ** 使用できます。また、リカバリコードだけではログオンできず、必ず Windows パスワードの入力が必要です。使い切った場合や紛失した場合は、管理者に再発行を依頼してください。

5.4 認証器を抜いたら画面がロックされた

管理者の設定によっては、**認証器を抜くと自動的に画面がロック** されることがあります。これは安全のための動作です。再度ログオンするには、認証器を接続してログオン操作を行ってください。

5.5 ログオン画面に FIDO タイルが表示されない

- 認証器が正しく接続されているか確認してください。
- それでも表示されない場合は、管理者にお問い合わせください（ライセンスや設定が原因の場合があります）。

付録 用語集

用語	説明
FIDO2 認証器	YubiKey などのセキュリティキー。ログオンに使用します。
PIN	認証器を使うときに入力する暗証番号（4 文字以上）。
タッチ	認証器のセンサーに触れて、操作者の存在を確認すること。
パスワードキャッシュ	一度入力した Windows パスワードを端末内に安全に保存し、次回以降の入力を省く仕組み。
リカバリコード	認証器が使えないときの緊急ログオン用コード。管理者が発行します。
セキュリティキー	FIDO2 認証器の別称。Windows の設定画面ではこの名称で表示されます。

お問い合わせ先

本製品の操作でお困りのときは、はじめに **社内のシステム管理者** へお問い合わせください。

項目	内容
製品情報	https://www.yubion.com/
製造元	株式会社 ソフト技研 (https://sgk.co.jp/)